

期計画（2010－13年度）について”と、武生RCの2011年6月に作成された地区長期ビジョンによる、多様性（クラブ・委員会・会員）推進目標検討シートと推進計画改善シートの計4部の提出があり、説明がなされました。この資料の説明の中で大きな点は、「長期計画」という言葉がRI（国際ロータリー）では2011年11月から「戦略計画」に変更したということでした。実質的な内容の変更ではなく、日本語訳の表現変更ということで、誤解しないようお願いして下さいとなっているそうです。では、なぜ表現が「長期計画」であったのかというと、RI日本語化に尋ねたところ、「計画発足当時、多くの日本のロータリアンに意見を求めたところ、戦略計画という表現は、戦後の社会背景とその影響から見て、戦争のイメージを惹起するので適当ではないという意見が寄せられたので、現在まで“長期計画”という訳語になった」ということでした。もともとは、「Strategic Plan」という英語の原文で日本語に訳すと、戦略計画になるので、言葉を「戦略計画」という日本語訳に変更したという説明でした。また、責任者から、ロータリーには出席と会費納入と地域誌の購読という3つの義務があることも説明され、ロータリーの友にはRIの情報が掲載されているので、欠かさず読んで頂きたいと言われました。

また、ロータリーは奉仕活動と会員増強に力を入れていく必要があり、奉仕活動をする事で地域の方たちに認知されることによってロータリーに興味を持つ頂ける方が増えることで会員増強に繋がり、また大きな奉仕活動を行うことが出来るようになる、と説明されました。皆さんが納得されている中で、石川会員から、ロータリーのあるべき姿である将来像をしっかりと描く必要があり、将来像があると方向性が見え、価値観も高まり質も高まるようになる、と思うと説明されました。また、長期計画だと長いスパンで順を追った計画を立てるようなイメージであったが、戦略計画という表現だと、RCの将来像を描きやすくなり、方向性がはっきりするので、良く理解が出来たと言っていました。

また、藤井会員からは、新入会員の質の向上をあげてほしいと要望していました。

**第2班 責任者：鎌谷忠雄会員 発表者：京藤敏実会員
出席者：草桶会員・小林会員・河合会員・蔭山会員
倉橋会員・三村会員 計7名**

鎌谷会員が体調不良で欠席され、河合会員が責任者代理で会を進めました。河合会員より資料に基づいて戦略計画の説明があり、2011年11月から、「RI長期計画」の日本語を「RI戦略計画」に変えました。最近のコンピュータ社会の進化により、対話の方法も、

Eメール・ツイッター・フェイスブック、携帯電話と手段が大きく変化してきました。武生RCも地域のニーズ・要望をとり入れ、5年後、10年後を見据え地域社会に見合った奉仕活動をしていかなければならない。長年続けてきた、高校への課外授業は学校の望むところとロータリーの目指すところが一致したすばらしいプロジェクトだと思います。また大滝町の大徳山での社会奉仕も続けられたらいいと思います。しかしながら、ロータリー活動の原点はクラブであり、そのクラブの活性化が最重要と考えています。そのためには新入会員の増強も大切ですし、なによりも親睦が重要と考えます。長期計画は年度を超えた計画になるので、なかなか継続は難しいのではないだろうか？2、3年後の新しい組織にもプロジェクトを押しつけるようなことにはならないのだろうか？もしそうだとすると次の会長が計画を立てにくいのではないだろうか？新年度に会長がテーマを一度掲げ、活動方針を出せばクラブ一丸となって会長のもと活動するのが武生ロータリーでありそれが良い伝統になっている。新会長は遠慮無く自分の思い・考え・方針を出して欲しい。なんと言ってもロータリーでは親睦が大切であり、親睦を深めるためにも、ゴルフの会・山の会・音楽鑑賞の会などはもっと活発に活動して欲しい。またIMなどの帰りなどもっと懇親を深めれば良いのではなかろうか。長期欠席者に、地区大会への参加をお誘いしたところ、京都のクラブなどに顔見知りが多く参加しており親しく話ができて大変喜ばれたことがある。長期欠席者をそのまま放置しておくのではなく、参加をお誘いするのが本当の友情ではないだろうか。ゴルフの会には参加させて頂いているが、ロータリーの例会には気持ちはあるのだがまだ出席できていない。その気になれば参加したい。

ロータリーの奉仕活動そのものが日本の奉仕とは少しニュアンスが違うように感じる。外国の留学生に援助するより、日本の本当に困っている人たちに援助するほうがもっと役立つのではないだろうか。過去のロータリー歴で、毎回100%出席は3年くらいある。入会当初の親睦委員会の時は、委員会の人数も多くロータリーの行事に積極的に参加し楽しかった。長期的にはやはり親睦委員会が活性化するのが最重要では無かろうか。

ニコニコ箱 …… 8,000円

- 佐々木会長 ○石川 満 夫 ○米 岡 房 直
- 京 藤 敏 実 ○服 部 秀 一 ○井 上 常 宏



2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を



創 立／1954年（昭和29年）6月30日
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日／毎週火曜日 例会場／武生商工会館
会 長／佐々木忠彦 幹 事／河 嶋 一 会報委員長／丹羽 新 吾

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

第2840回 例会記録 平成24年10月16日(火)

会員総数61名（内出席免除会員8名） 本日出席会員35名
メイクアップ（前々回） 7名
出席率（前々回補正）80.00%
ロータリーソング「それでこそロータリー」

会長挨拶 佐々木会長



10月14日(日)に武生工業高校で「第20回福井県工業学科チャレンジロボコン」が開かれました。これは「全国高等学校ロボット競技大会福井県予選」でもありました。参加チームは13チームで、奥越明成・大野東・春江工業・科学技術・武生工業・敦賀工業・若狭東高校の7校からの出場でした。趣旨は、県内の高等学校の生徒が、創造力を発揮して新鮮な発想で工夫を凝らし、仲間と協力しながらロボット競技大会への参加を目指す。また、その過程を通して高度な技術・技能を習得し、ものづくりへの興味関心を高めるとともに、次世代を担う技術者としての資質を向上させる、とありました。

高度な技術を駆使した跡が良く理解出来ました。夏休みも学校で作ったとのことでした。予想外の技術を見せつけられて、びっくりしました。まだまだ楽しみな学生たちの活動でした。

NHK BS-hiで、2008年1月放映された番組「夢の美術館 世界の名建築100選」を書籍化したものの中に、福井県で唯一の掲載の建物がありました。それは越前市今立地区にあります。

大瀧神社は、日本でいちばん複雑な屋根を持つ社寺と言われています。越前和紙の神様を祀る神社で、169年前の1843年の江戸時代に建てられたもので、国の重要文化財に指定されています。

後ろ側の、一段高くなっているのが本殿、前の部分が拝殿です。ふたつの建物は分かれています、

屋根はひと繋がりになっています。本殿の屋根には三角の千鳥破風が載り、そのすぐ下に丸い唐破風があります。拝殿の屋根にも同じように千鳥破風、そして唐破風と重なっています。

この凝った形ができる秘密は屋根の材料にあります。ここで使われているのは、ヒノキの樹皮、[檜皮「ひわだ」]です。長さ75センチに切り揃えた檜皮を1センチ2ミリずつずらしながら並べ、竹釘で打ちつけます。短い葺き足が複雑な屋根の曲線を作りだすのです。檜皮は薄く、しなやかで曲げに強いので、自由自在な曲線を描くことができます。ひとりの檜皮葺師が一日に葺けるのは、わずか畳一畳分の広さだといえます。平安の昔から日本人に愛されてきた檜皮葺、匠たちが連綿と伝え続けた技が、今も繊細な屋根の曲線を作り出しています。

ロータリーの特別月間としては、10月は「米山月間」でもあります。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動を行います。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されています。**今日の一言**：「山の茜を顧みて、一つの山を終りけり、何の虜の我が心、早くも急がるる次の山」深田久弥

プログラム 炉辺会合報告

テーマ **武生ロータリークラブの長期計画について(5年後)**
第1班 責任者：藤谷家也会員 発表者：井上常宏会員
出席者：石川会員・奥村会員・藤井会員・服部会員 計6名

はじめに、藤谷責任者から、資料として、2012年1月号のロータリーの友に掲載されている“「長期計画」から「戦略計画」へ”というRI戦略計画委員南園義一さんの記事と、2010年1月号のロータリーの友に掲載されている“新RI長

